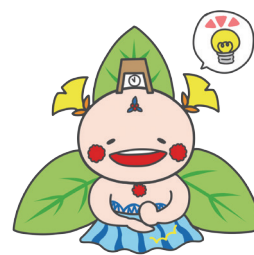


探究活動の充実

国の動きの先を行く 45 分授業化による時間的余裕を生かし、6 年間で一気に通貫する探究活動を行い、問題解決能力を育成するとともに、こだわりをもって進路選択する姿勢を育てます。



探究活動とは？

生徒が自ら問いを設定して主体的に調査・分析し、課題解決に向けて探究的に学ぶ活動です。これは、生徒が主体的に学びを深めることを重視する学習方法で、本校では、前期の「総合学習」、「うちーなタイム (UT)」、後期の「未来設計」の授業を中心に行っています。

なぜ、探究活動を充実させるの？

技術・経済・環境・価値観などが急速に変化し、未来の予測が困難な現在社会では、自ら課題を発見して解決する力が求められているからです。

また、探究活動は学習意欲や思考力を向上させるとともに、自分の生き方を考える機会となるため、進路選択や職業観の形成にも役立ちます。

大学入試でも推薦型選抜などで、探究活動の成果が重視される傾向が強まっています。

令和 7 年スタート！

うちーなタイム (UT)

教科の垣根を超えた出前授業や生徒の活動を重視したワークショップなどの特別な授業を実施します。



探究サイクル

年間を通して、テーマ設定、調査、論文 (レポート) 執筆、発表の探究サイクルに取り組みます。1～5 年生で 5 サイクル実施できるため、圧倒的な経験を積むことができます。

テーマ設定

- 生徒自身が探究活動で調査したいこと (探究テーマ) を設定します。
- 自分の興味関心を掘りおこす思考ツールやチームでアイデアを生み出すコミュニケーション方法を学びます。

調 査

- 生徒主体で調査方法を計画、実行します。
- 大学等のサポートを受けることもあります。
- 2 年生のアカデミックインターンシップでは、学校を飛び出して地域課題の解決に取り組む大人たちにインタビューします。

論文執筆

- 2～4 年生では、探究活動の成果を記録として残す方法を学び、レポートを作成します。
- 5 年生は、探究活動の集大成として、論文を執筆します。論文は、推薦型選抜等の資料としても利用できます。

発 表

- 研究成果を学校内外で発表します。
- 発表の方法は、スライドショーを用いたプレゼンテーションとポスターを作成するポスターセッションがあり、両方を経験します。

探究ゼミ

異なる学年の生徒が集まる探究ゼミでは、先輩からのアドバイスをもらえます。



阿波文化学習

徳島の魅力の再発見を目的とした探究活動を通して探究スキルを学びます。(1 年生)



チーム探究

2～4 年生は共同研究方式で、探究チームを編成します。

個人探究

5 年生は、これまでの経験を生かして、一人ひとりで研究に取り組みます。

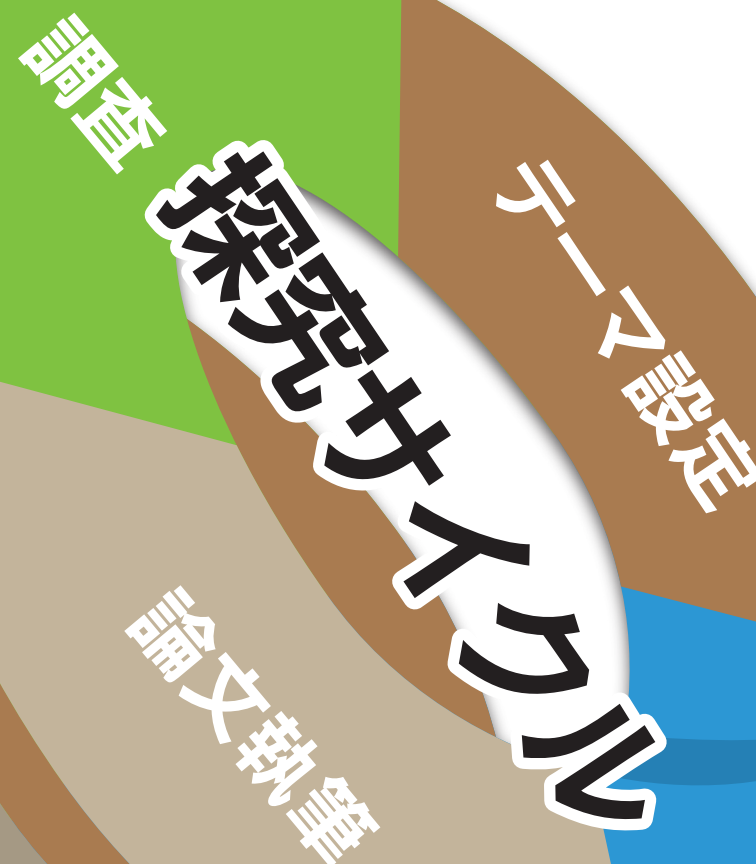
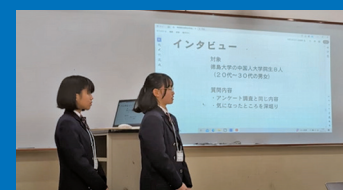
校内発表会

発表を通して、互いに成果を共有します。



校外発表会

県内外の発表会は、研究成果の発表だけでなく全国の仲間との出会いもあります。



社会でのキャリア形成

- 探究活動を通して身につけた、問題解決能力やコミュニケーション能力、そして、主体性や柔軟性などは変革の時代を生きるための基礎力として、キャリア形成に役立ちます。

大学等への進学

- 探究活動を通して自分の興味関心に向き合っているため、主体的な進路選択ができます。
- 学問への深い探究心と自主的な学びの姿勢は、大学等での学びをより良いものにします。
- 大学の総合型選抜や学校推薦型選抜等の入試では、探究活動の実績を活用することができます。